

バイオマス取組事例概要

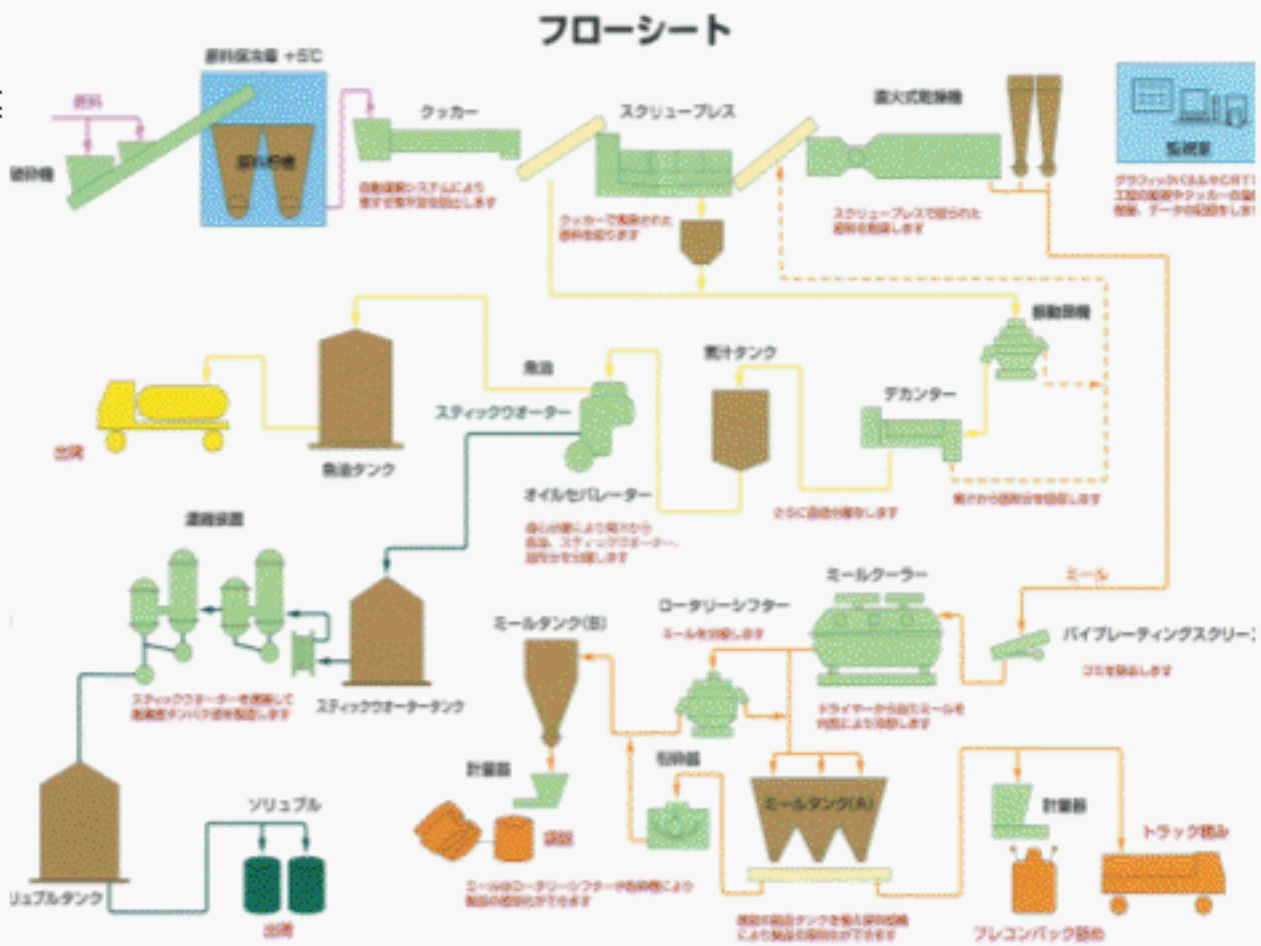
《社団法人日本有機資源協会会長賞》

- ・ 応募主体 協同組合焼津水産加工センター
- ・ 都道府県・市町村 静岡県焼津市
- ・ 取組分野 有機肥料、食品、飼料

取組概要

水産加工残滓からの飼料・食品、排水汚泥からの有機肥料の製造。

焼津水産加工団地を管理運営する事業協同組合による取組。
「無公害団地の形成」を目指し、一貫した作業で水産未利用資源(水産加工残滓、排水汚泥)の高度利用、付加価値化を実現しており、飼料、食品、有機肥料の製造を行っている。



カルシウム食品

水産加工工場から排出される加工残滓は煮熟処理、固水分離の後に固形分からは魚粕、液体分からは分離機により魚油、エキス分は濃縮され、ソリュブルを製造している。
水産加工残滓の41%が有効利用されており、製造された魚粕は肥料の原料として、魚油及びソリュブルは肥飼料として出荷されている。骨からはカルシウム食品が製造されている。

水産加工施設からの排水については、パイプラインにより場内の排水処理施設に送られ、処理が行われる。処理施設において発生した汚泥は乾燥処理を行い、98.5%が有機肥料として農協に出荷がされ、有効利用されている。



有機肥料